最後まで闘い抜け!!

汚れた顔のまゝ会場に参集

闘魂沸る 期闘貫徹 職場大会

期末手当闘争の窮極的な勝利をヤマ元大衆闘争の盛りあがりに指向して、中闘は十日附期闘発第十号をもって実力行使準備指令を發すると共に、七月十三日全國一齊職場大会を行えと指令した。これに基き三池では同日各支部一齊に職場分会単位に大会を持ち燃えあがる闘志を披瀝した。

宮浦支部

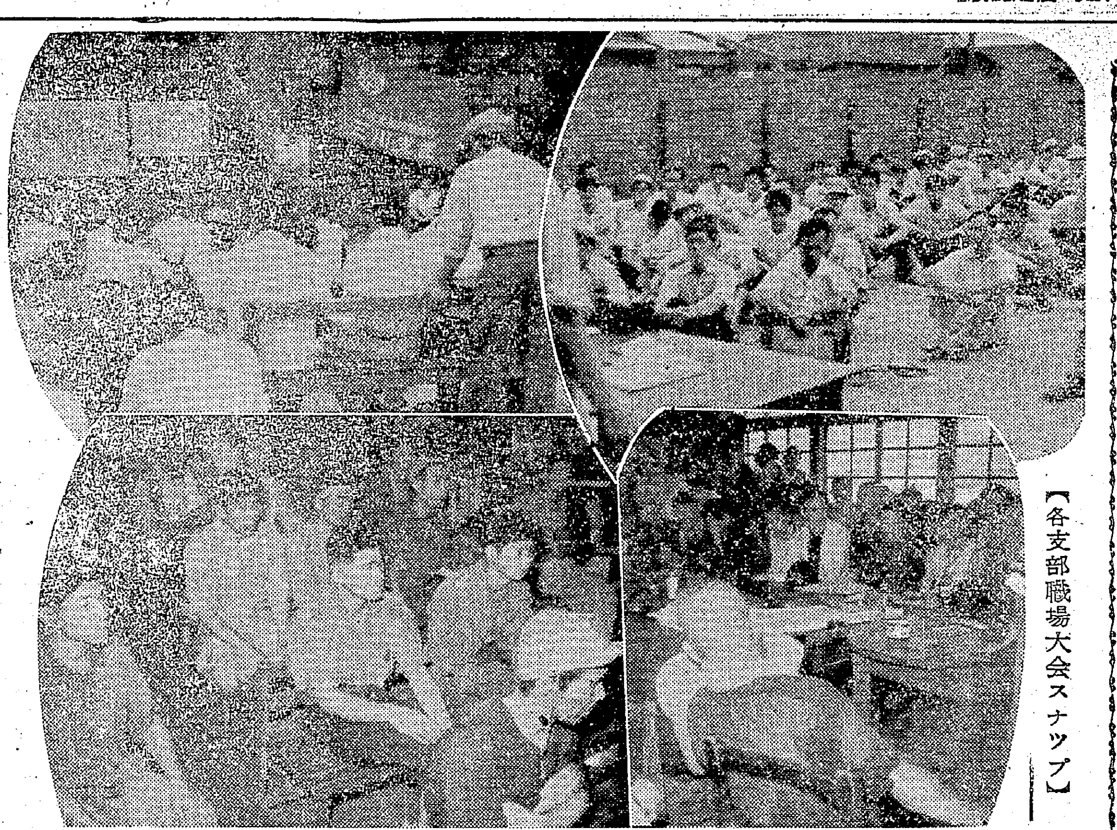
宮浦支部の職場大会は各分会（廿一分会）が自主的に坑外は昼休みに全職場が合同して組合前広場で、また坑内は各分会毎に昇坑後講堂会議室、広場などで思い〳〵に大会をひらき教宣部から闘争経過報告を聴取、中闘に対する激励、会社に対する抗議文を夫々採択、短時間でその代り気合の入ったところを見せた。同地域では今度の日曜日あたり決起大会を予定して居るところが幾つかある。

四山支部

四山支部ではこの日各職場分会（三十四分会）が坑内は繰込前或いは昇坑後に、また坑外は昼の休憩時間に夫々職場大会を開催、中闘に対する激励、会社山川社長に対する抗議文を決議すると共に意見発表、労働歌の合唱等で満々の闘志をたぎらせたほか、地域では福岡県の第五分会が炭婦協と合同で午前九時から社宅広場で決起大会を挙行、一番方、常一番を除く全組合員、主婦など約百五十名が参加して同様激励、抗議文を決定、労働歌を高唱して気勢を挙げた。

三川支部

三川支部では十二日中央委員会終了後支部委員会をひらいてあらかじめ職場大会対策を協議、雨天に備えて保安講堂、繰込場、講堂、労組階上、鉱長室、会議室、技術々室など、あらゆる会社施設を備り入れ、当日は各分会毎に昇坑後直ちに振り当られた場所で大会を開催、分会長挨拶、情宣部員による経過報告に次いで抗議文、激励文を朗読、採択したが、職鉱一本の建前から、分会によっては係長が活発な意見発表を行ったり、係員が抗議文を朗読するなどの風景も見られ、また昇坑後浴場にも行かず汚れたからだのまゝ直ぐに会場に赴くなどこれまでかつて見られなかった事であり、大衆闘争の盛り上りを如実に示すものとして真に力強いものが感じられた。尚坑外は昼休みに講堂で合同大会を催した。


【各支部職場大会スナップ】

港務支部

こゝは港方面は比較的まとまって居るがヤマ方面は現場が散在して居るので宮浦、万田と云う具合になるべくまとめて昼休み若しくは一番、二番交替時に大会を挙行、全廿一分会がすべて「最後まで闘い抜け」と中闘を激励、山川社長に対してはその不誠意をなじり猛省を促す旨の抗議文を決議、組合を通じて中央に送りつけた。

製作支部

製作支部では、支部委員会の決定で職鉱合同の決起大会を、本工場渡瀬に区分して開催した。当日正午トラバーサー線に、電気運搬車を使用して議長席を設け、各分会は赤旗をもった白鉢巻の青行隊員を先頭に企闘同時を思わせるワッショイ、ワッショイのかけ声で会場に続々つめかけて来る。十二時二十分に開会が宣言され、それぞれ職鉱支部長が檄をとばし、四十三億の赤字に気をとられることなく、生活のための要求である期末手当を闘いとれの抗議文、決議文を確認、緊急動議で一社電点ストに突入する。北炭に激励電文を贈ることを決定、執行部より早速手続きがとられ、両組合の万才を唱え午后一時散会した。

本所支部

本所には廿八の分会があり、この内物資課は三面所報の如く労働会館で大会を行ったほか各職場分会単位に昼休み並に退勤時を利用して大会を挙行したが、殆ど執行部の手をかりずにテキパキと運営、従前に見ない積極性が看取された

焦点

働いても働いても借金苦から抜け切れないで生活にあえいで居る組合員が多い中で、これは総収入一万六千円で八人家族の世帯を立派に切り盛りして、その上長男を大学に通わせて居るという見上げた家庭がある。炭婦協港務支部長納山かめさんの一家がそれで、以下納山さんが語る「我が家の経済白書」

家族全員の協力で

借金せぬ生活

納山さん一家の經濟白書

御主人の納山喜久則さん（四七）は港務所運輸課につとめ、勤続三十八年四カ月、一カ月の手取り収入は平均して一万二千円、家族は奥さんのかめさんを初め四男三女があり、長男の立司さんは東京の明治大学三年に在学中で、この方に毎月仕送り五千円（内三千円は、会社の奨学資金を借り入れ）長女の靜子さんが日給につとめて月四千円の収入があるが、下四人が高校、中学、小学校に夫々在学中なので学費が二千五百円要る。従って総収入一万六千円から、学費を差し引いた残りが一万一千五百円、このうち主食代が七千円、衣料費二千円、主人の煙草代千円を引くと残金僅か一千五百円、これでどうしてやって行けるかと思われるが

副食物のうち、野菜類はすべて自家の畑で手作り、魚も大きいのは高いから小さいのを買うようにし、脂肪の不足は植物油（月一升）でおぎなうなど細心の注意を払って居るので、栄養が不足するという心配は全然なく、一家八人健康に輝いて居る。こんなギリギリ一杯の家計でも給料の中から毎月二千円宛は天引きで必ず貯金して居る。勿論入用に迫られて、あとでは引き出すにしても現金を手持ちすることによって生ずる無駄づかいを防ぐ手段としては有効であり、僅少ではあっても利子もつく。

切り詰めた生計ですから主婦だけがどんなに締つても、それだけでは駄目で、どうしても一家中の協力が必要です。その点うちは主人をはじめ子供達に至るまで力をあわせてムダづかいということを全然しませんので、どうやら借金もしないでやって行け、有難いことだと感謝して居ります。欲をいえばきりがありませんが、せめて一人当り二千円あればもう少しは楽な生活が出来るだろうにと、いつも主人と話しております。

八人家族の主婦であり、炭婦協支部長という忙しい日常の寸暇をさいて納山さんは以上のように語って下さった。

なお明大在学中の長男立司君は全明大の中央執行委員長で都学連の副委員長を兼ねるというしっかりした青年で、将来が楽しまれている。

【寫真は子供に圍まれて中央納山かめさん】

第二回主婦のクイズ解答（①熱湯②私鉄　私鉄五三％、國鉄四七％（一九、七〇〇粁の割合））正解者三川＝川原照子、松野美代子（第三回連珠及クイズは二十四日まで投稿して下さい）　連珠第二回解答は第三回とともに来週發表致します

運營の大綱を決定

三川大谷地域分会

五月の組合改選により、職場、地域を合して七名の委員を獲得した大谷地域分会は、数回にわたり新委員の会合を持ち、機構改革を前提とした機関構成、二十九年度行動方針、同予算案の件等に関して慎重審議、活発な討論を経て、六月二十七日漸く成案を得たので、七月四日午後一時より集会所において班長会議を開き、右三件が提案審議された。

この日、低く垂れこめた鉛色の梅雨空からは、うつと若しい雨が小止みなく降りしきり、山つき特有の赤土の泥ねいと化した道路のため、会議準備のために先行していた委員連中も「この分では、班長さんの集りもかんばしくないだろう」と憂鬱そうな固い表情だったところが予期に反して定刻を十五分稍過ぎると、二十七名（定員四十二名）という良好の出席ぶりである。一時二十五分、三十八名出席を報告後、中村氏を議長とする今期第一回の班長会議（分会決議機関）が開かれ、本年度大谷地域分会の躍進的な行動を規定づける行動方針を始め、三つの重要議案が夫々提案されたが、何れも満場一致可決された。なお確認された新役員は次の通りである。

分会長　中村　人治
副分会長　森崎　康雄
会　計　奥田　居男

逸早く第一次分を急送

同志愛の結晶中小向救援物資

吹きまくるデフレ旋風で休廃山、賃金の遅欠配など既報の如く中小炭鉱の窮状は、目に余るものがあり、同じ炭労の組織につながる組合員の生活は、それこそ草の根食って露命をつないでいる惨タンさなので、炭労では至急救援カンパを行えと指令したが、これより先三池では炭婦協が既にカンパに起ち上っていたことではあり、逸早くその第一次分として十五日、組合本部に集荷された分を佐賀、長崎方面にトラックで急送した。内訳は

米　　　叺入	一六俵
馬鈴薯叺入	二〇俵
〃　　炭俵入	二俵
玉ねぎ　叺入	一俵
〃　　炭俵入	二俵
衣　　料	七〇〇点
素　　麺	五把
石　　鹸	八個
塩	二俵
靴	一〇〇足
古　　本	一〇冊
現　　金	四、三八六円

何れも温い同志愛のこもった財物であり「中小炭鉱救援物資」と大書したノボリと共に、三池炭婦協の旗を立てたトラックが本部玄関

【救援カンパの集荷と積出し】

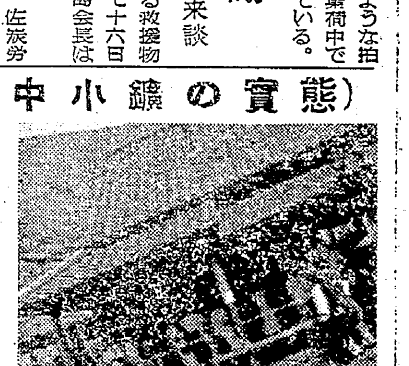
涙流し感謝

五島会長の歸来談

組合員、家族の真心こもる救援物資を佐賀県岩屋労組に届けて十六日帰着した三池炭婦協の五島会長は次のように語った。

トラックで行程五時間、佐炭労を経て午後三時半岩屋につき、渡辺組合長にお目にかゝって救援物資をお届けしますと大変よろこばれて、直ちに炭婦協評議員を呼びよせると共にマイクで全社宅に私達が来たことを知らせて下さったので、続々組合員や主婦の方が集って来られ、口々に感謝の言葉を述べられました。その晩すゝめられるまゝに同所に泊って、午後六時半から組合会議室で向うの炭婦協の方達と懇談会をひらきましたが、定刻までに二百人もの方々が集られ、組合長の紹介があって花園法政部長　ついで私が立ち「三池の五島です」とそういっただけで、皆さん涙をこぼして感謝されておりました。三池からはこれまでに何度もカンパが届けられ、今度また生きるか死ぬかの瀬戸際に届けられた救援物資なだけに、一握り宛の物ではあってもカンフル注射のように多大の感銘を受けられた模様で「お苦しいと思いますが、最後の五分を頑張って下さい。それでなかったら昨年の六月以来斗って来られたことが、水のアワになってしまいましょう。炭労の組織につながる私達として皆さんを見殺しにするような事はありません」と激励致しましたが、皆さんの過分な感謝の前に疲れも何も一ぺんに吹きとんでしまいました。岩屋では三月以降賃金未払いで今月五百円貰っただけだそうで、今、高倉で団交が持たれていますが、賃金支払い要求に対し会社は遷延策に汲々するだけで、一向誠意を見せず　斗う力も限界に迫って

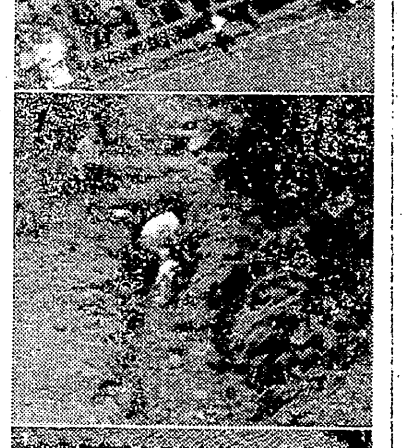
（紙上スライド　中小鑛の實態）



食うために

新屋敷炭鉱では、給料が遅配・欠配になって、食うことに事欠く有様で、その日〳〵を会社から配給される米で暮している。

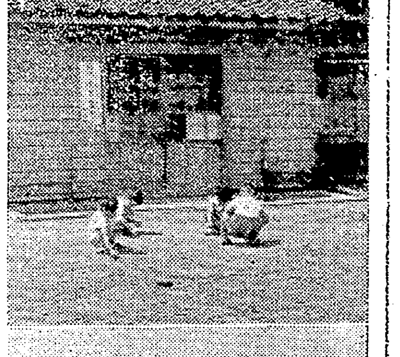
（労務で配給証明を貰う主婦達）



晝辨當のない子

子供達は昼弁当がないので学校に行かず、木の実やザリガニなどを取って副食の足しにしたり、或は子守などをしている。

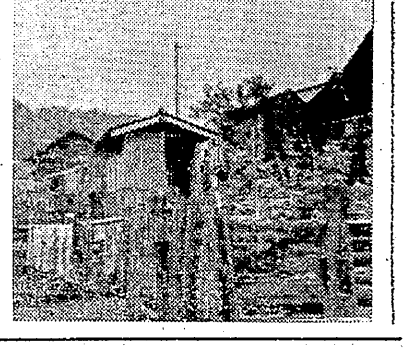
（ザリガニを取る子供達）



幼稚園は中止

休山のため幼稚園は中止しますの立札が苦しい生活を物語っている。子供達は、閉ざされた幼稚園の前で無心に遊んでいる。

（中止になった幼稚園）



みすぼらしい社宅

社宅…なんと見すぼらしいものでしょうか。これが文化的な生活でしょうか。栄養失調一歩前のどす黒い顔が社宅の窓から見える。

（小屋の様な社宅）

三池たんぷきょう

炭婦協

お話し以上に坑内は苦しい仕事

坑内見学の主婦達は語る

宮原社宅炭婦協は、十三日二十名、十四日十四名、十五日十三名の三班に分れ、宮浦坑々内見学に行ったが、十五日午後七時半より八時まで（八時より地域分会役員と炭婦協役員との懇談会が予定されていた）社宅倶楽部に集って頂いてその感想を聞くと、

Aさん　第一、二班は九時四十分頃から入坑し、大体地上でいえば、五月橋から松屋附近位になるそうですが、チツプラといいますか、炭函がかやって、石炭がベルトで選炭場に送られる処、電車修理場、水揚ポンプ、火薬倉庫などを見学し、十一時過ぎ昇坑して来ました。

Bさん　第三班は、それからずうっと奥に入り、電車から降りた所が、人工島の近くだそうで、それから約十五分ほど歩いて切羽まで行き、午後一時半頃昇坑しました。

Cさん　坑道には四十米間隔位に電燈がつき、危険な所には赤青の電球が光り、何か長いトンネルの中を行ってるみたいですが何か圧迫されているようで、余り良い気持ではありません。私達の見て来た所は、坑内でも一番良い所だそうで、坑内の人達の御苦労はこの奥まで行かないと分らないそうですが、その点残念でしたが、それでも坑内という所がどんな所か、おぼろげながら分りました。

Dさん　坑道にいる時は割合涼しい、といっても地上の涼しさとは全然違いますが、一歩切羽に足を踏み込むと、むうっとして汗が出るというよりふき出して来ますが、さすが炭坑の第一線だけに活気があふれ　ローダーが彼の大きな手を延ばしては石炭をかき寄せ、コンベアに流し込みますが、総べての点で機械化されているのには、私達が地上で考えていたのとは大分違います。

Eさん　坑道は割に片附いて、整然としていますが　切羽の中は足許もゴロゴロザクザクで雑然とし、炭塵がたちこめて、真ッ黒になって働いておられますが余り黒いので家族の人でも見分けがつかぬそうです。

Fさん　坑内に入っただけでも何か圧迫感があり、いつ壁が落ちて来るかわから危惧の念に襲われて、こんな所で働かねばお金が貰えぬのだろうかと、一寸悲しくなりました。私達は見学だけなんですが、長時間この危険な現場で働いておられる人達のそれは家族の人達の為にも、安全を祈らずにおられません。この現場を見ると本当に、もっと主人をいたわり　大事にせねばと思います。

Gさん　四ツ山に行かれた人の話では、宮浦は炭塵も少く、温度もあちらほど高くはないそうですが、それでも、坑内に居る間は何か気分が悪く、昇坑すると何かこう生き返ったようで空気がおいしいですね。坑内に働いておられる人達には、充分栄養をつけてやらねばと思いますが今の賃金でそういうことが出来ますかどうか　坑内見学が非常［illegible］ことと、結局は［illegible］いうことで意見［illegible］

【キヤツプラムプも凛々しく夫のいる坑内へ／宮原社宅炭婦協】

會長に志多田さん

港務平井分会結成終る

炭婦協平井分会の結成については関係者の中で鋭意工作が続けられていたが　遂に八十一名の居住者中六十五名の加入希望者を得たので、七月九日午後七時より緑ケ丘保育園に於て加上設立総会を開き、先づ議長に村上［illegible］出、議事に入り審議、役員の選［illegible］

分会長　志多田［illegible］
副分会長　［illegible］
会　計　［illegible］
幹　事　［illegible］

流れる歌声

西原会、歌の會

［illegible］

キャップランプ

金づまり

その一

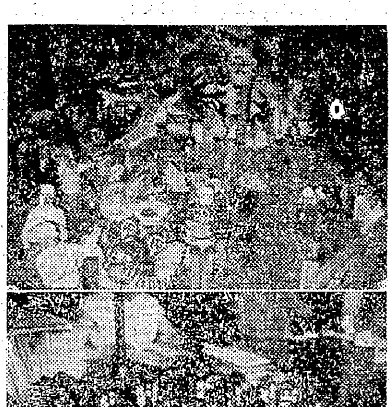
十二日から十五日まで［illegible］祇園さん［illegible］りは押す［illegible］たのが、［illegible］

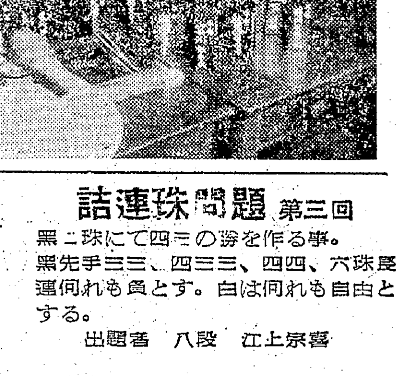
その二

もったこつして［illegible］日本一と称する［illegible］ときめく菊川［illegible］

真似によりけり

［illegible］あれずこの口で、去る日万田炭［illegible］五円也で途中上官で早々に降り［illegible］歩いて帰りアア恥かしい［illegible］にすることが目的であるとのことであるが、国会の真似は好い［illegible］





◎主婦のクイズ　第三回

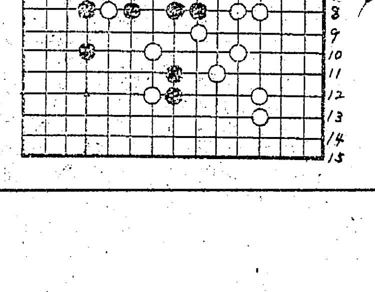
つぎの色でいわれる女性の［illegible］

①ムラ色　②［illegible］色　③ミドリ色

詰連珠問題　第三回

黒二手にて白四三の手を作る事。黒先手三三、四三三、四四、六珠長等何れも負とす。白は何れも自由とす。

出題者　八段　江上宗善



家計簿のつけ方

計理士　杉原　實（7）

七月十三日

主人が帰宅した、母は元気になられた由安心した。旅費の精算をした処左の通りだつた。

汽車賃往復五百円、車中の雑費四百円、母への見舞品代五百円、兄の家へ手みやげ品代四百円

残金　参千百円

七月十四日

昨日主人が帰って精算した残高を持っていると、つまらぬ事に使ってしまい相なので郵便局へ預入れようかと考えたが高利貸からの借入を［illegible］

七月十五日

［illegible］

七月十七日

［illegible］

七月十八日

［illegible］

今週の映画

黒いけし／母燃ゆ／人形　21―27　大天地

私は告白する／地獄の顔　21―27　セントラル

鳴門秘帖／［illegible］／ギャング狼う男　21―24　白秋座

花と波濤／月夜櫻　21―24　柳映

十代の秘密／第二の機会　21―24　國際

母燃ゆ人形／黒い花／風雲八万騎　21―27　名畫座

鯉名の銀平／［illegible］　21―27　宝星

黒いけし／第七捕虜収容所　21―27　大天地

［illegible］　21―27　新世界

若妻燃ゆ／［illegible］　21―24　友楽館

笛吹童子／眞実一路　21―24　宇宙館

家光と彦左／突然の恐怖　21―23　銀星

荒神山／母／乾杯　21―27　大陽館